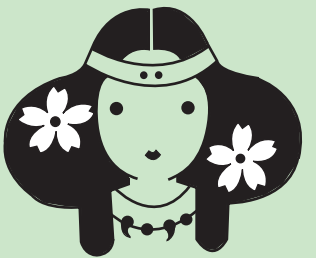
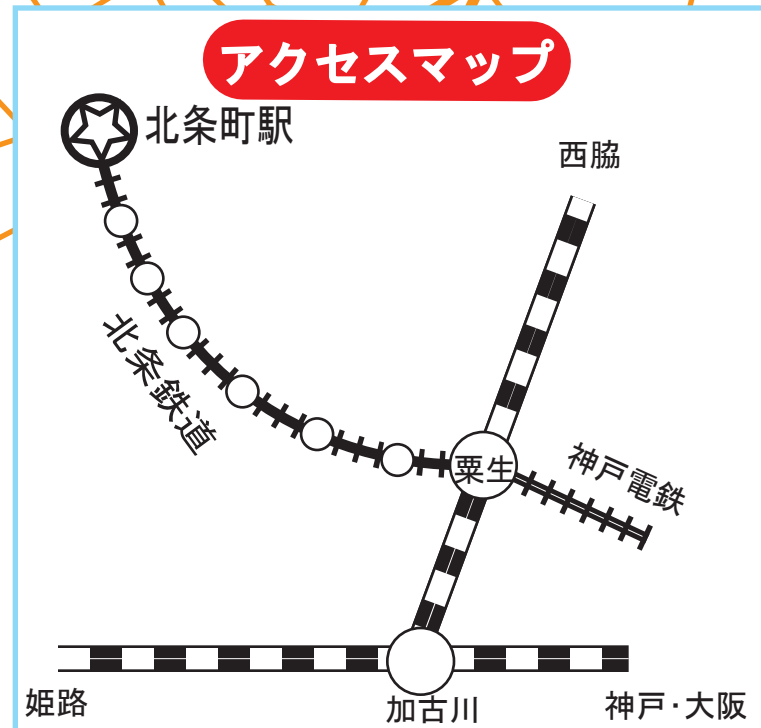


北条鉄道沿線散策マップ

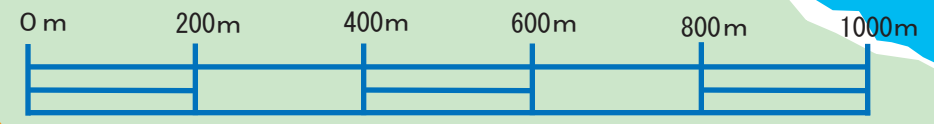


北条町駅周辺

名所・旧跡 100連発



あなたは何日で
全てまわれますか？



加西市観光まちづくり協会

兵庫県加西市北条町横尾1000
TEL 0790-42-8823

- 【1】北条鉄道北条町駅** 北条鉄道は、映画「千と千尋の神隠し」に出てきたような小さな列車が走る鉄道です。全長13.6kmを個性ある8つの駅で結んでおり、北条町駅はその始発駅です。駅舎は、平成13年にモダンな駅舎に建替えられました。
- 【11】酒見寺山門** 当寺山門は、寛永19年(1642)に再興され、現在の山門は文政8年(1825)に近隣の工匠神田作左衛門により再建されました。三間一戸八脚の襖門で、名刹酒見寺の山門にふさわしい偉容を誇っています。昭和53年市文化財指定。
- 【21】石造二十五菩薩** 来迎25菩薩は、亡くなられた人を阿弥陀如来と共に極楽浄土へと導く仏です。絵画には平安後期よりさかんに描かれましたが、石造物は珍しく、一石に一体を刻んだ25菩薩としては全国で2番目の古さです。
- 【31】栗田大日堂** 本尊は大日如来。承応年間の創と伝えています但詳細は不明です。以前は庵主さんが住んでおりましたがも呼ばれていましたが今は無住です。堂の前には地藏さんが祀られており、8月23日、24日地藏盆が行われます。
- 【41】稻荷神社玉垣** 播磨中央福祉専門学校の角地に小さな祠があります。祠前の玉垣石に「三重商工銀行」、左に「北条銀行」と刻んでいます。両行は明治期から当地の金融の中心で、その後合併を重ね、今の三井住友銀行となっています。
- 【51】小谷石仏** 室内に2基の石棺仏を安置しています。右側の仏は康永4年(1345)の年号が刻まれ、多重の椀座と敷敷子の上に蓮華座を設け、その上に乗印を結んだ阿弥陀如来を彫刻しています。なせか下腹部が濡れたようになっており、「夜ばりこき地藏」と呼ばれています。市指定文化財。
- 【61】薬法寺** 加西西国霊場一番札所の曹洞宗のお寺です。平成12年に改築されました。本殿の豪華な彫刻や鐘樓堂の化粧瓦などが見事です。また、美しい中庭に立つ6mを超える聖観音菩薩など見所の多い寺院です。
- 【71】カ士塚** 古坂の旧街道に面する墓地の前列に数基の筆子塚が並んでいます。その中に「緋威・」と刻んだ碑が3基あります。「緋威」は江戸時代後期に活躍した草子もうのカ士です。加西市には、このようなカ士塚が約60基確認されています。
- 【81】加西球場** センター122m、両翼91.5m、天然芝でナイター設備も完備した本格的スタジアムです。2006年開催のじぎく兵庫国体では軟式野球の会場となります。
- 【91】笹塚古墳** 市役所東の住宅街の中で、小高い樹木が茂る丘が笹塚古墳です。古墳時代中期に造られ、墳径約20mで、墳丘を削り溝を埋め後には、秋には、ドングリを拾って遊ぶ子供たちの姿を見ることがあります。国史跡指定。
- 【2】観光コーナー、レンタサイクル** 北条町駅待合室内に観光コーナーを常設しています。ささやかなコーナーですが、観光パンフレット等を置いています。また、レンタサイクルを常設していますので、観光用にご利用下さい。申し込みは北条町駅、利用料は無料です。
- 【12】酒見寺多宝塔** 寛文2年(1662)に建てられ、塔内に大日如来を安置しています。屋根の上重が椀皮葺、下重が本瓦葺という珍しい様式です。また、全体に装飾文様を極彩色で描いており、全国でもっとも美しい多宝塔と言われています。国重文指定。
- 【22】小泉首相似？の石仏** 昔から、「親の顔が見たけりや北条の西の五百羅漢の堂にごされ」と詠われ、さまざま顔をした仏が並ぶ五百羅漢。最近話題となっているのが小泉首相に似た石仏です。確かに似ています？他にもいろいろさがしてみてください。
- 【32】横尾の町並み** 江戸時代北条の町は、町の形が飛んで行く雁の姿に似ているため雁村と呼ばれていました。その雁の首の部分にあたるのが横尾の町です。曲がった道路や塗壁造りの屋敷、千本格子や虫籠窓、卯建など歴史ある家並みが残っています。
- 【42】神明神社大石燈** 神明神社境内に、伊勢神宮を祭る巨大な石灯籠が建っています。笠部4面に鶴、基礎部に龍を彫り、竿部には「天下泰平」「五穀成就」を、基礎部には「酒見講」の文字と寄進のあった150余村の村名を刻んでいます。幕末期の伊勢参りの盛大さを物語る石灯籠です。
- 【52】陽松寺** 小谷城主赤松祐尚が元文元年(1532)に創建したと伝える曹洞宗の寺院です。本堂の裏には池があり、戦の時には堰を切り、水を手前の田畑に流し防御に利用したとのことです。戦乱の時代に建てられた当寺は、碧の役割も担っていました。
- 【62】森久大明神** 薬法寺の裏山にあります。20基ほどの赤い鳥居をぐり、参道を登ると玉垣の内に小さな祠があります。森久大明神です。2匹の狐に守られ、竹林の中に静かにたずんでいます。
- 【72】玉丘町道標** 古坂からつづく旧街道の三叉路に3基の石の道標があります。「右 三木 はんじょう」「左 社・」と刻まれています。右へ行けば、小野、三木、兵庫とつづく兵庫街道、左へ行けば、社、篠山、京都とつづく西京街道の分岐点でした。
- 【82】玉丘の厄神さん** 長い石段を登ると八幡宮の本殿と拝殿があります。通称「玉丘の厄神さん」として知られ、毎年2月19日の厄神大祭には多くの人で賑わいます。八幡宮らしく瓦や梁上の彫刻には2羽の鳩を刻んでいます。
- 【92】金の鶏合せ時計** 市役所庁舎前に時計付の大きなモニュメントがあります。「金の鶏合せ時計」と呼ばれ、平成元年庁舎新築に合わせ、個人の方より寄贈されたものです。時計の上には、住吉神社の節句祭りの鶏合せを模し、金の鶏2羽がとまっています。
- 【3】駅前交通広場待合所** この建物は、北条鉄道北条町駅の建替えに際し、たぐさんの思い出の詰まった旧駅舎の面影を継承するために、旧駅舎玄關の姿を残し、平成14年3月に待合所として建築したものです。
- 【13】大火にまみえた宝篋印塔** 引声堂と従軍記念碑との間に宝篋印塔の基礎部分が置いています。2段の段がついており、全体に装飾文様を極彩色で描いており、全国でもっとも美しい宝篋印塔と言われています。国重文指定。
- 【23】すばく加西** 赤とシルバーのツートンカラーが鮮やかな屋内ゲートボール場です。2面のコートがとれます。いつも「コキーン」「コキーン」というボールを打つ音と、お年寄りたちの笑い声が響いています。
- 【33】横尾戎神社** 横尾の街道の中ほどに戎社があります。小さな流造の小社ですが、三葉柏や吉兆の彫刻、石垣、玉垣なども精巧に作られています。「えべっさん」は商売繁盛の神様で、昔から商人の町として栄えてきた横尾の町らしい社といえます。
- 【43】三重橋** 北条町は、播磨風土記には「三重の里」と記されており、その後、三重北条や酒見北条を経て今の北条と呼ばれるようになりました。今は使われなくなった「三重」という地名も、この橋名にその名を留めています。
- 【53】赤松祐尚公墓** 陽松寺の裏にあります。祐尚は、住吉神社を整備したり、酒見寺の講堂を寄進するなど善政を行っています。昭和47年、境内の一角が中国自動車道路建設用地となったため、造成の上建替えられました。
- 【63】横尾八坂神社** 北条の「じおんさん」として親しまれて、住吉神社と並び、酒見寺の講堂を寄進するなど善政を行っています。昭和47年、境内の一部が中国自動車道路建設用地となったため、造成の上建替えられました。
- 【73】報恩寺** 日蓮宗の寺院です。玉丘観音として信仰を集め、特に交通安全の祈願所として知られています。本堂前には、大きなシャクナゲの木があり、毎年春には、数百の真っ赤な大きな花を咲かせ見事です。
- 【83】玉丘史跡公園** 6.2haの園内に、玉丘古墳をはじめ6基の古墳と、芝生広場、ガーデンズ棟や手づくり庵、湿地観察園や野鳥観察デッキなどを整備しています。歴史と豊かな自然に触れることが出来る広大な公園です。
- 【93】鎮岩板碑** 市民会館東の公園内に立っています。石棺の側石と思われる板石に、阿弥陀三尊の種子を力強く篆研彫りし、下方に建治3年(1277)の紀年名を陰刻しています。元は鎮岩町大塚台にあったため鎮岩板碑と呼ばれています。県指定文化財。
- 【4】交通広場モニュメント** 交通広場ロータリーの真中にあります。「修布」「楢原」「雲濃」など播磨風土記の中に登場する加西の地名を刻んでいます。今も探石が続く地元長石で作られ、日本最古の古法薬光仏より数々の石棺仏、五百羅漢など古代から当地に花開いた石造文化を象徴しています。
- 【14】酒見寺の三つ葉葵** 屋根瓦や灯籠などに徳川家の家紋三つ葉葵を見ることが出来ます。当寺は徳川時代姫路藩主の深い崇敬と保護を受け、慶安年間には、藩主のとりにしにより三代将軍家光公より高60石と御朱印を賜られています。葵御紋は当寺と幕府の深い関係を示しています。
- 【24】磯部神社** 住吉神社の第4、第5王子が祭られています。住吉神社の神々が鎌倉山から降臨される時、佐保神が神宝を奪って逃げ、2王子が追いかけてましたが、川の増水のため逃がってしまった。その責を問われ住吉神社内に祭られず、この地に祭られているとのこと。
- 【34】加西市最古の道標** 横尾の街道の東端に除地蔵尊があり、その傍らに3基の石造道標が立っています。その一番うしろの道標は、享保13年(1728)に作られたもので、加西市に残る280余基の道標の中で最古のものです。
- 【44】一本松** 姫路からの街道が北条の町に入ってくる最終地点にあたり、昭和の初め頃まで1本の松の太木が生えていたため、今でも一本松と呼ばれています。一里塚の大木で、今はその大木は枯れてしまいましたが、誰かの手により松の苗木が植えられています。
- 【54】小谷五輪塔** 小谷城の構居跡と伝えられる場所の石壁の中に2基あります。右の方には、火輪の軒が真反りて、水輪の最大幅が中央にある新しい古式です。左の方がすこし新ishいのですが、共に三聖町初期です。市文化財指定。
- 【64】横尾地藏堂** 横尾部消防庫の裏に一軒四方の小さなお堂が建っています。地元では地藏堂と呼び、以前は講が営まれていました。格子戸から覗くと、極彩色に彩られた小さな木造地藏立像を見ることが出来ます。
- 【74】勤労者体育センター** 勤労者体育センターは、家族やグループ、職場の仲間たちのスポーツの拠点です。バレーボール、テニス、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、レンタサイクル等の設備を備えています。
- 【84】玉丘古墳** 5世紀に造られ、全長109m、県下で6番目の大きさを誇る前方後円墳です。播磨風土記に、後の顕宗、仁賢天皇になられた二皇子が、玉に飾られた古墳を造らせ、根日女(ねひめ)という女性を葬ったと記されている全国的にも有名な古墳です。国史跡指定。
- 【94】丸山総合公園** 「水と緑と緑に囲まれた市民のオアシス」をテーマに10年の歳月をかけた平成13年に完成しました。12.3haの園内に、芝生広場やアスレチック、ローラーすべり台や地球儀時計展望台などが整備され、子供や家族連れには最高の公園です。
- 【5】アステアかさい** 平成15年3月にオープンした市街地再開発ビル。魅力あるショッピングゾーンや地域交流センター、図書館などが入店しています。アステアは「明日」と「フロンティア」を合わせた造語で、駅前が明日を拓く新しい都市空間に生まれ変わりました。
- 【15】住吉神社** 住吉神社は播磨三ノ宮で、毎年4月の第1土、日曜日には、播州三大まつりの一つ北条節句祭りが開催されます。養老元年(717)に山氏が祖先の神を祀ったのが始まりという歴史の古い神社で、以後北条の町は、住吉神社と隣接する酒見寺の門前町として発展していきました。
- 【25】大信寺** 北条の町を歩くと、ひときわ高い本堂が目に入ることがあります。大信寺の本堂です。江戸時代の一時期、北条の町は小田原藩大久保家の領地でした。大信寺は、大久保家の菩提寺であったため、歴代城主の位牌を今もまつています。鐘樓門も見事です。
- 【35】神姫バス北条営業所** 近隣市町を結ぶ便利な神姫バス。毎日、姫路、高砂、社、小野、大阪などへ運行しています。ピンク色のレトロな路線バスに揺られるバスの旅は、どこか郷愁が漂います。神姫バスに乗って出かけてみませんか。
- 【45】駒塚** 田んぼの中にある小さな古墳です。駒は馬の意味で、古墳時代の国造許麻呂(ま)を葬ったとも、酒見明神が乗っていた黒馬を葬ったとも言われています。田畑を牛馬で耕作していた頃は、牛馬の守り神として信仰がありました。
- 【55】小谷町阿弥陀堂** ある時、泥棒が本堂の阿弥陀仏を背負い盗み出そうとしたが、あまりの重さに何度も転び、盗み出せなかったという話が残っています。現存する本尊は、像高3尺の木製で、そんなに重いとは思われず、罪の重さを説いた逸話と伝えそうです。
- 【65】水中のお釈迦さん** 釈迦堂の前に、腰まで水中に浸かると珍しいお釈迦さんがありますが、昔ここには水源池があり、水が少なかった当地では、人々が水源池を大切に守り、生活の水として活用してきました。水道の普及により水源池は無くなりましたが、水中のお釈迦さんが、水の大切さを後世に伝えています。
- 【75】ランドマーク展望台登山道** ランドマーク展望台への登山道に5台の遊具が設置されています。「たたく」「ならす」「きく」「しゃべり」をテーマにした遊具で、遊具を楽しみながら登ると、急な坂道の疲れを感じさせません。
- 【85】愛染古墳** 7世紀に造られた円墳です。元は約6km北の佐谷町にありましたが、ゴルフ場建設に伴い当地に移設されました。片袖式横穴石室の大きさを平成11年にはギネスにも認定されました。加西市が世界に誇る施設です。
- 【95】地球儀時計展望台** 丸山総合公園内の小高い山頂に建つ地球儀時計展望台です。直径6mの地球儀が自転し、世界の時刻を示しています。世界一の大きさを平成11年にはギネスにも認定されました。加西市が世界に誇る施設です。
- 【6】加西市立図書館** アステアかさい内にオープンした図書館。10万冊を誇る蔵書、CDやビデオ、インターネット幅幅広く利用できます。中庭テラスや展覧読書コーナーはファッションブルな空間として若者にも人気です。
- 【16】勅使塚** 本殿前庭に直径約10mの塚があります。平安時代近衛天皇の勅により、当社で播磨六山の僧による雨乞いの祈禱が行われまくした。祈禱はその後も続けられ、この塚は奉迎した勅使が使用したと言われています。現在は、節句祭りの鶏合わせの時に使われています。
- 【26】西岸寺** 白堺の美しい浄土真宗のお寺です。承応元年(1652)栗田から移転してきたと書われています。山門の上には、雄々しい鬼瓦や鯉瓦が目を見まします。また、大信寺側から、本堂裏側破風の見ごたえのある獅子口や懸魚、虹染なども眺めることが出来ます。
- 【36】ジャマ古墳** 神姫バス北条営業所の北に大きな古墳がありました。墳径約53mの円墳でしたが今は何も残っていません。神姫ビルの南から西へ入る小路が、今も丸くカーブしており周溝に沿ったもので、わずかに古墳の名残を留めています。
- 【46】アクアスカさい** 手前川の増水時の調整池として平成8年に造られました。普段は主にサッカー場として活用され、すり鉢状のスタジアムのような雰囲気です。また、同施設を周回する遊歩道はウォーキングロードとして多くの人に利用されています。
- 【56】小谷遺跡** 中国自動車道に4ヶ所、道路でなく高架となったところがあります。小谷遺跡です。昭和45、46年に本格調査が行われ、古墳時代中期の集落跡や須臾器などが大量に発見されました。この貴重な遺跡を残すため、中国自動車道を高架し地下保存しています。
- 【66】古坂トンネル** 加西市唯一のトンネルです。トンネル入口には、「古坂隧道」薫風美田」の銘板が入っています。平成36年に竣工し、その後何度かの中修工事を経て現在に至っています。出来てから10年以上の歴史に幕を閉じる予定です。
- 【76】ランドマーク展望台** いこいの村はりまの背後の山頂に立つ、全高約20mの展望台です。加西市のキャラクターマーク「根日女」をモチーフにデザインされた文字を点灯させ、市街地や中国自動車道からも見ることが出来ます。
- 【86】野鳥観察デッキ** 玉丘史跡公園の南端にあるデッキからは、長倉池の湿地に集まるコサギやアオサギ、アマサギなどの水辺鳥や、冬季には、マガモ、オナガガモ、ホシアジロなどの水鳥、そして運が良ければコハクチョウなども観察することができます。
- 【96】ローラーすべり台** 地球儀時計展望台前から、197mと155mの2本のローラーすべり台が伸びています。山の斜面を利用しての迫力満点です。休日には、たくさんの子供たちの歓声が園内に響きわたります。利用料は無料。
- 【7】花時計** この花時計は、昭和53年に成人の記念として製作され、「はたちの時計」と呼ばれます。直径が約4mもあり、四季折々の花が植栽されています。作者は北条成長を見守り、加西市の歴史を静かに刻みつけています。
- 【17】桶公鉄子図絵馬** 住吉神社の拝殿に掲げられ、安政6年(1859)に奉納されています。桶木正成とその子正行との別れの場面を描いており、当市を代表する絵馬です。作者は北条出身の画家田能村小斎で、わずか13歳の時の作と伝えられています。
- 【27】乙山翁碑** 西岸寺境内に、乙山翁碑と刻んだ大野乙山の碑があります。乙山は、江戸から明治期に活躍した儒学者で、地元で子弟の教育に専念する傍ら、田能村直入や尾芝寸松、三枝夏畦など多くの文化人と交流を深め、当時の文化人たちの中心的人物でした。
- 【37】東南四国88ヶ所札所めぐり** 金毘羅神社参道に四国88ヶ所札所めぐりが設定されています。境内からは、石室に2尊石仏を納めています。19番札所や奥の院はお堂になっています。また道中には、13仏や産湯に入る大師像など珍しい石仏などもあります。
- 【47】乳の井戸** 時間によって乳のような白い水が湧き出すため乳の井戸と呼ばれています。昔、応神天皇は、鳩が運ぶこの水を母乳代わりに飲み育ったという伝説がのこっています。井戸の周りの塀の上に瓦の鳩が乗っているのはそのためです。
- 【57】円融寺** 元は谷口町にありましたが、明治27年当地に移転。日蓮宗の寺院らしく山門の前にヒゲ書体の題目塔が2基立っています。境内には、クスノキの巨木が4本あり、その下に石造十三重塔、日蓮御尊像、地藏立像などが並んでいます。
- 【67】ミニチュア三重塔** 古坂の大蔵神社境内にミニチュアの三重塔が置いてあります。ミニチュアと言っても高さ約6mの堂々としたもので、精巧に作られています。古坂町内には、三重塔と鐘樓堂のミニチュアを庭先に置いている民家もあります。散策して見付けてください。
- 【77】出会いの鐘** ランドマーク展望台のある山頂公園に立つモニュメントベルです。平成10年に完成しました。山頂からは、加西市の市街地はもとよりに、遠く明石海峡大橋も望むことができます。古坂町内には、三重塔と鐘樓堂のミニチュアを庭先に置いている民家もあります。散策して見付けてください。
- 【87】野鳥観察デッキ** 玉丘史跡公園の南端にあるデッキからは、長倉池の湿地に集まるコサギやアオサギ、アマサギなどの水辺鳥や、冬季には、マガモ、オナガガモ、ホシアジロなどの水鳥、そして運が良ければコハクチョウなども観察することができます。
- 【97】大乗妙典一字一石供養塔** 県道北の山裾に南面して立っています。大乗妙典は法華經のこと、経の中の1文字を小さな石に墨書き奉納したものです。基段部には奉納した人の名を刻んでいます。江戸時代後期から明治期にも多く建立されましたが、その中で多くに立派なものです。
- 【8】懷徳碑** 花時計の隣に「懷徳」と刻んだ碑が立っています。明治16～18年、当地を襲った飢饉に際し、郡内の篤志家に呼びかけ、米穀を募り、1500余戸の貧民を救済しました。その記録と中心となった148人の名を刻み、その徳を称えています。
- 【18】五百羅漢** 「いつ、誰が、何のために」作ったかわからない、神秘と謎を秘めて佇む四百余数の石仏たちが境内いっぱいに並んでいます。大分県耶馬溪山、山梨県吉沢の羅漢とともに全国的に有名な羅漢石仏です。拝観料200円。市文化財指定。
- 【28】妙典寺** 路地を入り山門をくぐると隆栄山妙典寺です。本堂の左には鐘樓堂があります。加西出身で、日鏡総裁も務めた松尾臣善氏が明治40年に寄進したものです。梵鐘は戦争のため供出し後世の物ですが、堂は当時のもので、格調高く立派なものです。
- 【38】金毘羅神社** 金毘羅山上に大きな広場があり金毘羅神社があります。境内からは、北条の町並みを一望することができ、古くから信仰の場であり、市民の憩いの場でもあったようです。吸谷町慈恵寺、坂元町阿弥陀堂の多層塔に類似しており、埋もれた文化財と言えます。
- 【48】八幡神社の石造多層塔** 八幡神社階段すぐ左に朽かかけた堂があり、その裏に石造の多層塔が残っています。銘はありませんが、各層笠部は重厚で、塔身は背高で古式を示しています。吸谷町慈恵寺、坂元町阿弥陀堂の多層塔に類似しており、埋もれた文化財と言えます。
- 【58】小谷城址** 中世、小谷赤松氏の居城となった山城址です。陽松寺背後の山頂、東端に一の曲輪があり、西へ数段の曲輪がのびています。他にも空堀や土塁、堅堀や堀切などの遺構が確認できます。眼下には、赤松氏が治めた北条の町並みが見渡せます。
- 【68】吉本公園モニュメント** 吉本公園内に「緑風の薫」と名づけられた高さ約4m、Ω型のモニュメントがあります。平成11年に区画整備事業完成を記念して建立されたもので、堂々としたモニュメントです。隣接する公衆トイレの男子用は、利用するのすこし勇気がいらいます。
- 【78】亀山古墳** いこいの村はりまの背後の山頂にある5世紀ごろの古墳です。播磨風土記による鴨里を一望する地にあり、神鏡鍔や武器などが出土しました。いこいの村はりまやランドマーク展望台等とは遊歩道で結ばれています。市指定文化財。
- 【88】忠臣蔵サミットモニュメント** 史跡公園の中に、平成14年11月に加西市で開催された忠臣蔵サミットを記念したモニュメントがあります。モニュメントの周りには、サミットに参加した13の自治体の市木や町木が植栽されています。加西市は、忠臣蔵かりの地でもあります。
- 【98】鶏魂碑** 一字一石供養塔の左にあります。昭和38年に建立した旨以外の説明はありません。おそらく養鶏業者が鶏の供養のために建てたものと思われます。他の動物供養塔としては、北条菊ヶ谷墓地に畜魂碑があります。
- 【9】大蔵神社** 大蔵神と事代主命を合祀しています。4月住吉神社の節句祭りで御旅所として、屋台の練り合わせや龍王の舞が行われます。本殿の龍や獅子、虎などの見事な彫り物は、昭和12年飾磨の長谷川義秀氏が手掛けたものです。
- 【19】ふれ愛観音** 五百羅漢庚申堂内に西村公朝氏寄贈の仏像があります。公朝仏特有の、ふくよかで、おだやかな表情の仏です。ふれ愛観音と呼ばれ、病氣や怪我をした人が、仏の同じ場所をさすると快癒すると信仰を集めています。
- 【29】寺町色町通り** 平成15年「私の好きな兵庫のまちなみ百選」に選ばれた町並みです。周辺に3つの寺があり、かつて芸者さんが行き来していたという情緒ある界隈です。あなたも風情ある路地に迷い込んでみてください。
- 【39】西南大蔵神社** 五穀豊穰の神大蔵神を主神とし、境内には、他に金毘羅社や祇園社、蔵王権現なども祭られています。本殿右の社には、木製の神馬が奉納されており、目を入れると神馬が暴れ飛び出しそうなので、目は入れていないとのこと。
- 【49】谷町八幡神社** 急な石段を200段ほど登ると本殿があります。山上にあるにもかかわらず大きな社殿で、応神天皇を祭っています。まわりは、加西市の「ふるさとの森」に選ばれたアベマキ、アラカシなどを中心とした鎮守の社が広がっています。
- 【59】栗田の石灯籠** 栗田の地藏堂の道向かいに、全高約4.5mの大きな石灯籠が建っています。「御神燈 三所大権現 文化7年霜月・」と銘が入っています。三所大権現は、熊野三所権理のことで、約300m北に位置する熊野神社